

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

商業

科目 商業選択B 原価計算

教科：商業

科目：商業選択B 原価計算

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～4組

教科担当者：（1組：木口）（2組：木口）（3組：木下）（4組：木下）（組：）（組：）

使用教科書：（原価計算（実教出版））

教科 商業 の目標：

- 【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解し、ビジネスの場面で活かされる知識を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を自ら見つけ出し、職業人に求められる倫理観と創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、ビジネスの創造と発展協働的に取り組む態度を養う。

科目 商業選択B 原価計算 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
原価計算の基本的な概念や原理を体系的に理解するとともに、製品の原価を計算する能力や記帳技術を身に付けるようにする。	原価計算や帳票への記帳について、課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する力を養う。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 原価計算の基礎 第1章 原価と原価計算 ・工業簿記は製造業に適用されるものであることを理解させる。 ・工業簿記と原価計算の関係を理解させる。 ・原価の意味（製造原価・総原価）を理解させる。	第1章 原価と原価計算 ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 製造業の特徴や原価の意味、原価の基本的な内容について、その知識・技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 製造業の特徴や原価の意味、原価の基本的な内容について、思考・判断し、それを表現する仕方を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	4
	第2章 原価計算のあらまし ・原価要素の性格とその分類について理解させる。 ・原価要素の集計のしかたと原価計算表の役割を理解させる。 ・原価計算の四つの目的について理解させる。 ・原価計算の手続きについて理解させる。 ・原価計算期間について理解させる。 ・原価計算の種類を理解させる。	第2章 原価計算のあらまし ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 原価要素の性格とその分類、原価要素を集計する過程における原価計算表の役割について、その知識・技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 製造直接費と製造間接費の区別は、なぜ必要か、製造指図書番号の役割は何か、製造活動を記録するためには、どのような勘定が必要かなどについて、思考・判断し、それを表現する仕方を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	4
	第3章 工業簿記-製造業における簿記- ・工業簿記における勘定記入の特徴を理解させる。 ・工業簿記に特有な勘定科目とそれぞれの記帳方法を理解させる。 ・工業簿記の一連の記帳手続を学習させることにより、全体的な構造を理解させる。	第3章 工業簿記-製造業における簿記- ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 原価計算と工業簿記の関連、原価計算表、仕訳、勘定記入等について、その基礎的・基本的な知識・技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 製造直接費と製造間接費の区別の必要性や、製造活動に関わる勘定の特性について思考・判断し、それを表現する仕方を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	第2編 原価の費目別計算 第4章 材料費の計算 ・材料費の分類とその内容を理解させる。 ・材料費の仕入れと記帳方法、元帳への転記を理解させる。 ・材料の保管について理解させる。 ・棚卸減耗の意味とその処理方法を理解させる。 ・材料の消費と記帳方法、原価元帳への記入方法について理解させる。 ・材料の消費単価と消費数量の計算方法について理解させる。 ・予定価格により、消費高を計算することの意味、予定価格を用いた二通りの記帳法を理解させる。	材料費の計算 ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 材料費の分類、材料費の計算および仕訳や勘定記入など材料費の記帳に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 なぜ、予定価格を用いるのか、合理的な記帳法はどのようなものかなどについて思考・判断し、それを表現する仕方を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	8
	第5章 労務費の計算 ・労務費の分類とその内容を理解させる。 ・賃金支払高の計算と記帳方法を理解させる。 ・賃金消費高の計算と記帳方法を理解させる。 ・予定賃率による消費賃金の計算と記帳方法を理解させる。 ・賃金以外の労務費の種類、その計算と記帳方法を理解させる。	第5章 労務費の計算 ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 労務費の分類、労務費の計算および仕訳や勘定記入など労務費の記帳に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 なぜ、予定賃率を用いるのか、合理的な記帳法はどのようなものかなどについて思考・判断し、それを表現する仕方を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	第6章 経費の計算 ・経費の意味とその分類を理解させる。 ・経費の消費高の計算と記帳方法を理解させる。	第5章 経費の計算 ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 経費の分類、経費の計算および仕訳や勘定記入など経費の記帳に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 経費の消費高の計算において、なぜ3分算するのか、合理的な記帳法はどのようなものかなどについて思考・判断し、それを表現する仕方を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	6

2 学 期	第3編 原価の部門別計算と製品別計算 第7章 個別原価計算 ・個別原価計算のしくみを理解させる。 ・原価計算表の記入方法を理解させる。 ・原価元帳と製造勘定の関係を理解させる。 ・製造間接費の配賦についての概要を理解させる。 ・実際配賦率による配賦の欠点を説明し、予定配賦率による配賦を理解させる。 ・製造間接費の差異分析を理解させる。 ・仕損品・作業くずの処理を理解させる。	第7章 個別原価計算 ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、製造間接費の予定配賦および差異の処理について理解している。 【思考・判断・表現】 なぜ、製造間接費は予定配賦するのかについて考え、具体的に表現する仕方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 個別原価計算を行うための一連の手続きに関心を持ち、製造指図書への賦課や製造間接費の処理の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	第8章 部門別個別原価計算 ・部門別個別原価計算の必要性を理解させる。 ・原価部門の設定について部門別計算の目的から考えさせ、各部門の役割を理解させる。 ・部門別個別原価計算の手続きの全体の流れを理解させる。 ・部門費配分表、部門費振替票を作成させ、それぞれにもとづく仕訳を、マスターさせる。 ・製造部門費予定費配賦表を作成させ、それぞれにもとづく仕訳を、マスターさせる。 ・部門別個別原価計算の全体的な流れを再確認させる。	第8章 部門別個別原価計算 ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 部門別個別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、部門費配分に関する二つの方法の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 なぜ、部門別計算を行うのかについて思考・判断し、直接配賦法と相互配賦法それぞれの処理を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 部門別個別原価計算の学習に関心を持ち、製造間接費を部門ごとの予定賦課・集計・差異の処理を、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	第8章 部門別個別原価計算 ・部門別個別原価計算の必要性を理解させる。 ・原価部門の設定について部門別計算の目的から考えさせ、各部門の役割を理解させる。 ・部門別個別原価計算の手続きの全体の流れを理解させる。 ・部門費配分表、部門費振替票を作成させ、それぞれにもとづく仕訳を、マスターさせる。 ・製造部門費予定費配賦表を作成させ、それぞれにもとづく仕訳を、マスターさせる。 ・部門別個別原価計算の全体的な流れを再確認させる。	第8章 部門別個別原価計算 ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 部門別個別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、部門費配分に関する二つの方法の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 なぜ、部門別計算を行うのかについて思考・判断し、直接配賦法と相互配賦法それぞれの処理を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 部門別個別原価計算の学習に関心を持ち、製造間接費を部門ごとの予定賦課・集計・差異の処理を、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	第9章 総合原価計算 ・生産形態の違いから、原価計算の方法も異なることを理解させる。 ・個別原価計算と総合原価計算の違いを明らかにする。 ・総合原価計算の種類を理解させる。 ・単純総合原価計算が用いられる製造業の特徴と手続きの流れを理解させる。 ・月末仕掛品完成品換算数量・加工費・加工進捗度などの用語の意味を理解させる。 ・平均法と先入先出法による月末仕掛品原価の計算をマスターさせる。 ・単純総合原価計算表の作成と記帳法に習熟させる。 ・等級別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と等級別総合原価計算のしくみを理解させ、等級別総合原価計算表の作成に習熟させる。 ・組別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と組別総合原価計算のしくみを理解させ、組別総合原価計算表の作成に習熟させる。	第9章 総合原価計算 ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 総合原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、各種原価計算の方法の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 総合原価計算と個別原価計算はどう違うのか、等価係数とは何かについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 総合原価計算の学習に関心を持ち、各種原価計算の処理を、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	第10章 工程別総合原価計算 ・工程別総合原価計算の意味と目的、手続きについて理解させる。 ・工程別総合原価計算表の作成を通して、工程別総合原価計算のしくみを理解させる。 ・工程別総合原価計算の手続きと記帳方法を理解させる。 ・半製品の意味と半製品がある場合の記帳方法について理解させる。	第10章 工程別総合原価計算 ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 工程別総合原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、各種原価計算の方法の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 なぜ、工程別計算を行うのかについて考え、適切に判断して学習を進めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	5
	第11章 総合原価計算における減損・仕損じなどの処理 ・減損の意味と、それが発生した場合の処理方法を理解させる。 ・副産物・作業くず・仕損品の意味と、それぞれが発生した場合の記帳方法について理解させる。	第11章 総合原価計算における減損・仕損じなどの処理 ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 減損の意味と、それが発生した場合の処理方法について理解し、月末仕掛品原価の計算ができる。また、副産物、作業くず、仕損品の意味と、それぞれが発生した場合の記帳方法について理解している。 【思考・判断・表現】 総合原価計算における減損・仕損じなどはどのように処理するのかについて考え、適切に判断して学習を進めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	4

3 学 期	第12章 製品の完成と販売 ・製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法を理解させる。 ・販売費及び一般管理費の記帳方法を理解させる。	第12章 製品の完成と販売 ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 製品の完成と販売及び決算に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 個別原価計算と総合原価計算の計算体系の違いをともに、完成時の手続きや処理法について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 製品の完成時及び販売時の手続きや処理法について関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。	○	○	○	6
	第13章 決算と本社・工場間の取引 ・月次決算の意味と年次決算との関連について理解させる。 ・財務諸表の特色を理解させ、製造原価報告書の作成に習熟させる。 ・工場会計の独立と、その記帳方法について理解させる。	第13章 決算と本社・工場間の取引 ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 製造業の決算の特徴について理解している。また、本社工場間の取引に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 製造業の決算の特徴を商品売買業の決算と比較して考えたり、本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 製造業の決算の特徴を商品売買業の決算と比較して考えたり、本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考えている。	○	○	○	6
	第14章 標準原価計算（その1） ・標準原価計算が原価管理に役立つ理由を知らせる。 ・標準原価計算の意義と特色、全体的な流れを理解させる。 ・完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を理解させる。	第14章 標準原価計算（その1） ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 原価管理を行う意義と標準原価計算の特色について理解し、標準原価の基礎的・基本的な知識と計算技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 実際原価計算の限界や、標準原価計算の原価管理における有用性について思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	6
	第15章 標準原価計算（その2） ・原価差異の計算とその分析方法を理解させる。 ・標準原価計算の記帳方法を理解させる。 ・標準原価計算による損益計算書の作成方法を理解させる。	第15章 標準原価計算（その2） ・教材 教科書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 原価差異の計算技術を身に付けるとともに、それぞれの差異の意味について理解している。また、標準原価計算における記帳方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 原価差異について分析し、その原因や改善法について思考・判断することができる。シングル・プランとパーシャル・プランの違いについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	6